

七高SSH通信

R2・10・12
石川県立七尾高等学校
SSH推進室 第7号

高校生バイオサミット 文部科学大臣賞受賞

8月24日(月)～26日(水)に行われた、第10回高校生バイオサミット in 鶴岡で、本校36Hの磯辺さん、梶さん、通さん、橋詰さん達の研究『鏡に対するメダカの反応と行動』が、文部科学大臣賞を受賞しました。また、代表発表者の通さんは、個人対象の審査員特別賞も受賞し、W受賞となりました。



決勝に行くことが決まった時は本当に嬉しかった。発表が一番最初で発表者の通さんはもちろんのことサポート役の私たちも緊張した。今までの発表会とは全然違った。全ての発表は様々な見方で成り立つものでとても勉強になった。

バイオサミットに参加して、他校の研究発表を見ることができ、オンライン上だったのは少し残念だけどとても楽しむことができた。また、アドバイスでもらった分の実験など、やりたいことは残っていて一年間という研究期間は短く感じています、その中で完全燃焼できたんじゃないかと思います。

たくさんの素晴らしい研究がある中で、こんな立派な賞をもらえたということにとても驚いたし、今までの大変だった動画を見る作業なども報われたようで嬉しかった。いろいろな大学や研究機関の方からのアドバイスをもらえたり、とても貴重な経験もできた。

リモートディスカッションでは、普段全く関わることができない、全国の高校生のリアルな意見を聞くことができました。研究の内容は違えど、皆同じような考えを持っていて、同じところを目指しているのだと気づいて驚きました。とても貴重な経験になりました。

SSH 生徒研究発表会 ポスター発表賞受賞

文部科学省と国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) の主催で、令和2年度 SSH 生徒研究発表会がオンラインで行われました。本校代表として『ダイラタンシー現象とその周期』のグループ(36H 越後さん・長野さん・中山くん・宮本くん)が発表し、ポスター発表賞を受賞しました。



私たちの研究が認められ賞を頂けたことは大変嬉しく思います。研究で培ったことを活かしていきたいです。

全国レベルの大会で賞をとることができ、とても驚いています。自分たちの行った研究が評価されて嬉しかったです。

研究や大きな場所での発表を通して、多くのことを学ぶことができ、これからの役に立てていきたいと思います。

なかなか活動に参加できず申し訳なかったが、最後までやり遂げられ、多くのことを学ぶことができてよかった。

全国高等学校総合文化祭

第44回全国高等学校総合文化祭(2020こうち総文)がWEB SOUBUNとして7月31日(金)～10月31日(土)にかけて行われています。石川県代表として本校から、自然科学部門(化学)の『レモン汁による牛乳タンパク質の凝集』のグループ(36H 多田くん・玉田くん・長尾くん・早見くん)、自然科学部門(生物)の『鏡に対するメダカの反応と行動』のグループ(36H 磯辺さん・梶さん・通さん・橋詰さん)、自然科学部門(地学)の『日中における天体観測について』のグループ(24H 小倉さん・25H 荒邦さん・26H 畝さん・中山くん)が自分たちの研究について発表を行いました。

また、『鏡に対するメダカの反応と行動』、『日中における天体観測について』が自然科学部門研究奨励賞をいただきました。

研究奨励賞受賞



『日中における天体観測について』



『鏡に対するメダカの反応と行動』